

■ 第1回 西留先生の指導後確認事項

できていることもたくさんあります。再度、確認ということをお願いいたします。

- 1 グッズをそろえる
 - ・問、課、見通し、自、友、ペア学び、班学び、学び合い、考察、まとめ、振り返りは、必ずそろえる。板書をそろえる。3段階を意識した板書。
 - ・キーワード（各教科の用語）
- 2 見通しの活動を必ず行う
 - ・どうやって、本時の課題にせまるのか、その方法の見通しを立てる活動
 - * 答えの予想を立てる、前時までの学習との違い、前時に学んだことが使えそう
だ、など、自力解決に向かう前に、何をどのようにしていけばいいのかを児童
と確認する活動。グーパー確認をする。
- 3 シラバス、言語わざの提示
- 4 課題設定は、単元の計画（流れ）や本時の付けるべき力を活かし、できるだけ、
短時間で行う。ただし、単元の学習問題づくりなど内容に寄っては、時間をか
ける場合にあり（社会科・理科や生活科など）。逆に、国語など単元計画が明
らかな場合は、課題を提示しておく。
- 5 ゴールを明確にする。まとめのリード文の記述。
- 6 発表の仕方
 - ・発表の位置：みんなに見える場所で
 - ・友達の意見につなげる
 - ・説明の仕方：結論から言う、理由を必ず言わせる（ここに、考察や深い、学び（多
様性、見方・考え方等）につながる各々の思考がある。
 - ・つまり、そのことから、結論は、語りかけの言葉（～ですよ）を使えるよう
にする。
 - * 相手意識が生まれ、聞く方も自然な反応ができる
 - ・反応のしかた：うなずく、なるほど、そうか、うーん、ちょっと？等その仕方
を指導し、発表の仕方とリンクさせる。
- 7 振り返りの視点を明らかにする
 - ・キーワードを使う ・条件をつける。